

目次

はしがき	(シンジルト)	・ ・ ・ ・ ・	i
まえがき	(シンジルト)	・ ・ ・ ・ ・	2
調査概要	(福元眞子、永田りさ、金城沙紀)	・ ・ ・ ・ ・	4
経緯		・ ・ ・ ・ ・	4
音声データ表		・ ・ ・ ・ ・	7
地図		・ ・ ・ ・ ・	8
第1部 生業——猟師たちの生活世界		・ ・ ・ ・ ・	9
はじめに	(中原浩基)	・ ・ ・ ・ ・	10
第01章	生活の中の狩猟——球磨郡の猟師たち(中原浩基)	・ ・ ・ ・ ・	11
第02章	猟師たちの解体処理作業——動物から精肉へ(田口由夏)	・ ・ ・ ・ ・	20
第03章	命をいただく——ジビエの可能性(金城沙紀)	・ ・ ・ ・ ・	32
第04章	猟犬の役割——命がけで闘う猟犬(永田りさ)	・ ・ ・ ・ ・	42
第05章	狩猟と女性——女性猟師から狩りガールまで(井村葉子)	・ ・ ・ ・ ・	54
第2部 社会——狩猟から見る人々のつながり		・ ・ ・ ・ ・	64
はじめに	(村田尚弥)	・ ・ ・ ・ ・	65
第06章	猟友会の社会的役割——取り組みと他組織との関係(首藤莉奈)	・ ・ ・ ・ ・	66
第07章	猟師の実像——猟師と外部とのつながり(西山かれん)	・ ・ ・ ・ ・	77
第08章	狩猟コミュニティの形成——地域住民の関わり合い(村田尚弥)	・ ・ ・ ・ ・	86
第09章	なぜ危険で大変な銃猟が人気か——銃猟師の意識とつながり(岡野智之)	・ ・ ・ ・ ・	98
第10章	猟師の始点と終点——猟師を希望した動機と引退の原因(加覧菜津紀)	・ ・ ・ ・ ・	108
第3部 文化——猟師たちの世界観		・ ・ ・ ・ ・	119
はじめに	(妻瀬娑季)	・ ・ ・ ・ ・	120
第11章	猟師の仕事とは何なのか——動物を獲る行為と猟師(御手洗大樹)	・ ・ ・ ・ ・	121
第12章	猟師のアイデンティティ		
	——「語る」行為と「飾る」行為から見る猟師の姿(井手菜央子)	・ ・ ・ ・ ・	130
第13章	山の神から見た狩猟文化——産みと安らぎの神(福元眞子)	・ ・ ・ ・ ・	139
第14章	猟師たちの縁起ごと——日常から禁忌を探る(妻瀬娑季)	・ ・ ・ ・ ・	150
第15章	猟師にとっての慰霊——球磨郡の慰霊碑を通して(北坂典子)	・ ・ ・ ・ ・	158
あとがき	(北坂典子)	・ ・ ・ ・ ・	169
熊本県の狩猟実態に関するアンケート		・ ・ ・ ・ ・	170
第1回集計結果		・ ・ ・ ・ ・	171
第2回集計結果		・ ・ ・ ・ ・	178
特別寄稿		・ ・ ・ ・ ・	190
特別寄稿1	「害獣」を仕留め山の神に捧げる		
	——宮崎県椎葉村の害獣駆除の現場より(合原織部)	・ ・ ・ ・ ・	191
特別寄稿2	ラッキー・アニマルと森の博徒たち		
	——内陸アラスカと南九州をつなぐ狩猟・カミ・動物部位(近藤祉秋)	・ ・ ・ ・ ・	205
後記	(奥野克巳)	・ ・ ・ ・ ・	218